

- 農泊推進対策のうち広域ネットワーク推進事業により、「コンテンツの充実」、「人材育成」、「情報発信」の取組として、専門家派遣、人材育成研修のほか国内外プロモーション等を実施。

① OTAを活用した消費者向け農泊プロモーション

- OTAサイト及び関連サイトに農泊の特設ページを設置
プライベート、グルメ、体験、海・山の4つをテーマに整理して農泊の旅プランを紹介
- 特設サイトのプロモーション及び消費者データ分析・調査



② 農泊需要喚起に向けた情報整備・発信

- 個人旅行者に向けた農泊地域情報収集・整備
- 国内向けの情報発信（農泊ガイドブックの制作）
- 国内ターゲットにあわせたWeb媒体及び雑誌等での記事タイアップ
- 「Country Side Stay Japan」サイト等での海外向け情報発信



← ガイドブック
表紙イメージ

Country Side →
Stay Japan
サイト



③ 旅行に関する展示会等への出展及び旅行事業者との連携促進

- 農泊地域と旅行会社とのマッチング促進
オンライン商談会を3回実施（7月、12月、2月）
プラットフォーム機能のモデル構築、検証
- ツーリズムEXPO、VJTM等への出展
ツーリズムEXPO（国内最大の旅行展示会）
VJTM（インバウンド向けの商談会）



- 旅行会社等に向けたモニターツアー
国内旅行会社向けのモニターツアー
海外旅行会社向けのオンラインモニターツアー



④ 経営能力を高度化するための研修・専門家派遣

- テーマ別集中講義
<設定テーマ>
A : 持続的な事業運営のポイント
B : 情報発信・販路確保手法
C : 高付加価値なコンテンツづくり
D : 地域食材の利活用
E : 農泊×ワーケーション
F : 農泊×SDGs
G : アルペリゴ・ディフーズ：地域分散型ホテル

● テーマ別伴走型支援プログラム

農泊地域の経営能力を高度化すべく、課題に応じて多彩な専門家から地域のニーズにあわせて専門家をマッチング・派遣し年間を通じた伴走型の支援

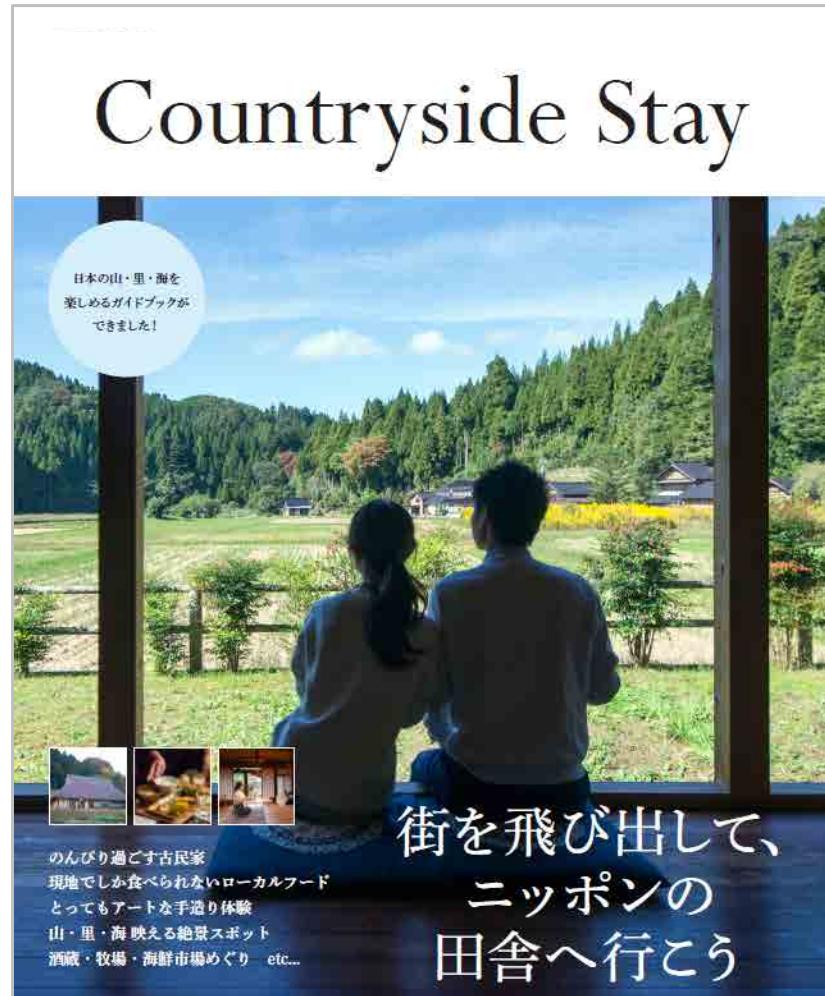
● 外部人材活用セミナー

地域外の新たな人材を活用するためのノウハウを学ぶためのセミナーを開催



農泊をテーマにしたガイドブックについて（イメージ）

- 全国から約100か所の農泊地域をピックアップし、初心者にも認知・理解しやすいガイドブックとして情報を整理・発信。
- コロナ禍で注目を集めている一棟貸し施設や古民家を改装した施設をはじめ、その地域ならではの食や体験メニューを紹介。「農泊＝修学旅行での農家民泊」というイメージを払しょくするような農泊の魅力を一般個人旅行者に向けて発信する。
- 全国の書店・ネット書店等で発売予定（2023年2月頃）



春夏秋冬、朝・昼・夜。当該エリアの魅力を引き出す時期・時間帯を意識した写真を掲載。



その土地でしか食べられないローカルフード、新鮮な食材、あるいは伝統的な文化体験など、文化、歴史、農山漁村ならではの癒しの風景などを、表情豊かに切り取って掲載。



地域交流の醍醐味のひとつである、地域の方との触れ合いや体験の魅力を訴求。特に巻頭特集では地域住民の取り組みや想いを表現したものを企画。



↑ガイドブック表紙イメージ